

1. 科目コード

1215

2. 科目名

OSS 構成特別実験 (Advanced Experiments in OSS Structure)

3. 担当教員

奥田 亮輔 (Ryosuke OKUDA)

4. 開講期

2 年次 春 3 期 ((昼) 水曜 3-4 時限・金曜 3-4 時限、(夜) 水曜 6-7 時限・金曜 6-7 時限)

5. 科目の目的・概要

所望の IT システムをタイムリに構築するためには、アプリソフトを自ら開発する能力とアプリレベルの OSS を利用する能力の双方が必要である。本科目では、Web アプリ開発およびアプリレベルの OSS の活用法を学ぶ。

6. 科目の学習目標

- (1) Web アプリケーション開発に必要な環境を自分でセットアップできる
- (2) Web アプリケーション開発 (計画立案/仕様策定/コーディング/テスト) を実施できる
- (3) チームで役割分担し、円滑なコミュニケーションを図り、開発作業を進めることができる

7. 本学の教育目標と科目の学習目標との対応

教育目標			学習目標
高度 ICT スキルの修得	基礎的素養		(1)
	専門知識および業務応用力		(2)
人間力（＝探究力）の修得	自ら強みを磨き続ける力		(2)
	自ら社会における課題を発見し、解決する力	課題設定	(2)
		仮説立案	(2)
		仮説検証	(2)
		実行	(2)
	社会人基礎力	前に踏出す力	
		考え抜く力	
チームで働く力		(3)	
職業倫理の修得			

8. 履修要件

「OSS 構成特論」の学習目標に到達していること。

9. 教科書

なし

10. 参考書

授業内で適宜紹介する。

11. 評価方法と配点

学習目標	達成度評価方法と配点					
	期末試験	小テスト	レポート	発表	成果物	その他
(1)			○			
(2)			○	○	○	○
(3)			○	○	○	
配点			20	20	30	30

「その他」の評価：

他のチームが開発したWebアプリケーションをお互いに検証することを行う。検証する側としては不具合を指摘したかどうか、検証される側としては不具合を出さなかったかを評価の対象とする。

12. 備考

本実験では、教員がWebアプリケーションの模擬発注者となり、幾つかのアプリについて要求仕様を提示する。受講者は3～4人のチームを組み、開発するアプリを選択し、共同作業によって開発・検証まで行なう。複数メンバによる共同作業を円滑に行うために、OSSのプロジェクト管理ツールやバージョン管理ツールも活用することとする。

■ 授業計画

(注)授業計画は、あくまでも予定であり、実施時に、適時、追加・変更・修正等が生じる場合があります。

第1・2回 ガイダンスと課題説明	(講義 90分 + 90分)
この時間では、本科目全体の狙いと進め方、課題となる Web アプリケーション(3種類を予定)について説明します。また、チームの編成を行います。	
第3・4回 開発計画策定	(演習 90分 + 90分)
チームに分かれて、要求分析、WBSの検討、メンバのロールアサイン、スケジューリングを行います。また、要求分析で不明な点について質問票をまとめ、疑似発注者である教員に対しチーム個別に要求仕様をヒアリングする機会を設けます。	
第5・6回 演習第1クールと計画レビュー	(演習 90分 + 90分)
開発計画(要求分析・WBS・ロールアサイン・スケジューリング)がまとまったチームから、開発作業を開始します。また、教員に対してチーム毎に開発計画を個別に説明して貰い、開発計画の評価をすると共に、教員からフィードバックを返します。	
第7～12回 演習第1クール	(演習 90分×6)
計画に従ってチームで開発作業を行います。	
第13・14回 演習第1クールと中間進捗レビュー	(演習 90分 + 90分)
開発作業を続けます。また、教員に対してチーム毎に開発計画に対する進捗状況を個別に説明して貰い、教員からフィードバックを返します。	
第15～22回 演習第2クール	(演習 90分 × 8)
必要であれば計画を見直した上で、開発を続けます。第24回まででアプリケーションの検証を全て修了してください。また、第22回の時間内に、開発した Web アプリケーションの操作説明書を提出してください。第22回の時間に、相互検証を行う割り当てを決定します。	
第23・24回 相互検証(1回目)	(演習 90分 + 90分)
第22回に決めた割り当てに従って Web アプリケーションの動作検証を行って不具合を洗い出します。洗い出した不具合については、簡単な説明と再現方法の記述を作成し、時間内に提出して貰います。	
第25・26回 手直し作業	(演習 90分 + 90分)
指摘された不具合について手直し作業を行い、デグレも含めて再検証を行います。	
第27回 相互検証(2回目)	(演習 90分)
指摘した不具合が修正されているかどうか、また、デグレが無いことも含めて再度検証を行います。	
第28回 発表準備	(演習 90分)
最終発表に向けた準備を行います。	
第29・30回 最終発表およびデモ	(発表 90分 + 90分)
各チームの最終成果について発表とデモを行います。演習を通じて新たに気づいた点、工夫した点について特に発表いただき、参加者全員で知見を共有します	